

あさる

♪ VOICE OF THE FOREST



No.19
-2018.4-

メディア森リニューアル情報

P.1-2 メディアの森がリニューアル

P.3-4 新入生に薦める本

P.5 大型資料の紹介

P.6 めでいもりReport

P.7 めでいもりInformation



メディアの森がリニューアル!

この春、メディアの森がリニューアルします。便利になることがたくさんあります。入館方法や貸出ルールも変更になります。新しくなった図書館にぜひご来館ください。

Check it out!



入退館方法が変わるよ

新しい入退館ゲートをお通りください(中央館)

入館の際には、学生証または図書館利用票をタッチしてください。図書館利用票をお持ちでない方は総合案内で入館手続き後、お入りください。

退館時もカードによるタッチが必要です。



貸出ルールを変更しました

本をたくさん長く借りられるようになりました

学部学生・大学院生・職員の方は7冊まで借りることができるようになりました。

また、貸出期間が2週間から3週間までと長くなりました。(医学部分館の所蔵資料と学外利用者を除く)

A2ベストセラーコーナーの本も3週間借りることができます。

返却期限を過ぎると、延滞日数分(最長7日間)貸出できなくなりますのでご注意ください。

	貸出冊数	貸出期間	
		中央館・物部分館所蔵資料	医学部分館所蔵資料
学生・院生・連合農学研究科学生・職員	7冊まで	3週間	2週間
教員・名誉教授	10冊まで	30日以内	2週間
学外利用者	5冊まで	2週間	2週間

本の貸出には学生証または図書館利用票が必要です。貸出期限の延長は1回まで可能です。新着図書など一部貸出期間が短い資料もあります。

ICタグを導入しました

本の貸出・返却が簡単にできます(中央館)

借りたい本を、1階総合案内窓口へお持ちください。自動貸出返却機(ABC)でも貸出・返却ができます。

ABCで貸出・返却をするとき、1冊1冊バーコードを読み込ませる必要がありません。

本は重ねて置いてください。一気に処理ができます。

貸出処理を行わず、退館ゲートを通ると警報音がなり、ゲートを通過できません。

学生証をお忘れなく



表紙の人



中央館の学生スタッフのお二人です。

左: 岸本かの子さん(理学部卒業生)
右: 宮尻ほのかさん(人文社会科学部2年)

2人からひとこと
「お困りのことがあれば、図書館へぜひお越しください。指南書、助っ人がたくさんおります。」

OPAC(蔵書検索)画面が新しくなりました

資料を探すためのOPAC(蔵書検索)画面が新しくなりました。また、図書館が提供する様々なリソースを同一のインターフェイスで一括検索できるディスカバリーサービスもOPACと連携できるようになり便利になりました。詳しい使い方については、次号掲載予定です。

情報関連もリニューアル続々

教育端末室をリニューアル

教育端末室(中央館)・情報コンセントブラウズ室(物部分館)をリニューアル。デスクトップパソコンが設置されているメディアの森2階の教育端末室と物部分館の情報コンセントブラウズ室もリニューアルしました。

WindowsOSもアップグレードしてサクサク動くと好評です。中央館教育端末室は2月にカーペットを張り替え、落ち着いた雰囲気になっています。

今まで自分のノートパソコンから教育端末室・情報コンセントブラウズ室のプリンターを利用していた方は、プリンター設定を変更する必要があります。

詳しくは、備え付けマニュアルをご覧ください。HPからもダウンロードできます。

http://www.iic.kochi-u.ac.jp/ipc/settings/kochi-u/user_manual.htm



Office 365 ProPlus (Microsoft) を無料で利用できます

本学はMicrosoft社と包括ライセンス契約を結びました。学生・教職員の皆さんはOffice 365 ProPlusを無料でダウンロードすることができます。Office 365 ProPlusにはWord、Excel、PowerPointなどのソフトが含まれています。

Office365のクラウドサービスを利用するとレポート・論文の共同作成ができたり、友人同士で受講ノートの閲覧ができます。また写真や動画をシェアしたり、サークル内の連絡表やスケジュールを作成・配布なんていうことも可能です。

いろんなシーンで活用できるので、使ってみてください。

在学期間中、1人あたり(Windows PC/Mac、タブレット、スマートフォンそれぞれ5台まで)最大15台までインストール可能です! ライセンス認証のため、30日に1度ネットワーク接続してください。(忘れると利用制限がかかります)



中央館 学生サポートデスクを開設(4月~5月限定)

図書館に来たものの、資料の探し方がわからないなどの疑問や情報検索・文献検索のサポートやICT(PC・プリンター)利用の支援を行います。

学生サポートデスクで対応できないご質問は、適切な相談窓口をご紹介します。

開設日時: 4~5月の毎週火曜日・水曜日 【12:30~17:00】(予定) 場所: メディアの森2階 アクティブラーニングフロア入口
先輩が質問に答えてくれるので、気軽に質問してくださいね♪



新入生に薦める本

こんな夜更けにバナナかよ

渡辺一史著 北海道新聞社 2003

私が大学1年の時に、たまたま大学図書館で手に取って、衝撃を受けた本です。内容は、進行性筋ジストロフィーのため24時間介助が必要な鹿野さんと、彼を取り巻くボランティアを描いたノンフィクションです。私は社会福祉学部に入學し、1日ボランティアを何回か経験したものの、ボランティアに対して何かモヤモヤした気持ちを抱えていたときに、この本に出会いまし

た。この本は、「障害者を介助するボランティアは、人間的に出来たひとたちばかり」みたいな一面的な見方を、良い意味で改めさせてくれると思います。また、ノンフィクションながら、障害者福祉の歴史についても学べる本でもあります。多少厚めの本ではありますが、内容は難しくないの、すんなり読めると思います。



推薦者

教育学部教員
三ツ石 行宏

所蔵状況

所蔵館	配置場所	請求記号
中央館	A2ブラウジング	文春文庫/わ-18-1 (文庫版を所蔵しています)



海と毒薬

推薦者
農林海洋科学部教員
金野 大助

遠藤周作著 新潮社 2003(新潮文庫)

正直に告白すると、実は最近、あまり本を読んでいません。以前はかなり多読な方だったので、読書タイムのほとんどは通勤電車の中だったので、高知大学に赴任して電車通勤ではなくなったと同時に、読書時間もなくなってしまいました。というわけで、この紹介文を書くために慌てて本棚をあさって選んだ本書、太平洋戦争末期に九州大学病院で実際に行なわれた、米兵捕虜を生きたまま生体解剖するという人体実験を題材

にした小説で、クリスチャンである筆者の倫理観が強く表れた作品です。初めて読んだのは大学生のときだったのですが、町医者となった勝呂医師が、夏目漱石の『こころ』に出てくる『先生』を思い起こさせて、同じような結末を迎えるのではとドキドキしながら読み進めたことを覚えています。極限下に置かれたとき、人は何を心のよりどころにして行動するのか、正しい行動とは何かを考えさせてくれます。同じ著者による、『沈黙』もお薦めです。

戦争の深淵：闇(コレクション戦争と文学12) 集英社、2013にも収録されています。

所蔵館	配置場所	請求記号
中央館	A5開架	918.6/Kor/12

所蔵状況

所蔵館	配置場所	請求記号
医学部分館 物部分館	2F南コーナー 南閣小型	913.6/ウ 913.6/Umi

いのちの仕舞い 四万十のゲリラ医者走る!

小笠原望著 春陽堂書店 2011



本の著者と出会ったのは40年も前です。私の学生時代の恩師として、また母の主治医としてもお世話になりました。母に付き添って先生の内科外来を受診するといつも外来の看護師さんが私にぐるぐる手を回すしぐさをして見せます。このしぐさは「ひとりの患者さんの診察に時間がかかりすぎて外来が回っていかない」というパフォーマンスです。本当に人とお話をするのが大好きな先生でした。先生の俳句、歌も沢山拝聴しました。そんな温かい思い出のある先生が、地元に戻り在宅医療に取り組む医師としてこの本を書かれています。

本の冒頭には「痛まず、苦しまず、できたら何か食べられて、そして住み慣れた環境で最期を迎えられる」それを「いい仕舞い」と地元の人たちは言う、とあります。この地元とは高知県四万十のことです。四万十の人たちと支え合いながら繰り広げる在宅医療は、医療職を志す者に忘れてはならない心に響く多くのものを教えてくれます。おすすめの一冊です。

推薦者

医学部教員
池内 和代

所蔵状況

所蔵館	配置場所	請求記号
中央館 医分館	A3開架 2F書架(専門)	498.04/Ino W/9/イ

マルクスのかじり方

石川康宏著 新日本出版 2011

カール・マルクスをご存知でしょうか。「彼はいったい何者?」と聞かれると回答に困りますが、哲学者であり、経済学者で思想家で革命家とも紹介されます。

「大学の勉強は高校までの勉強と違う」ということは耳に馴染みができるくらい聞いてきたと思います。しかし、だからといってどうすればいいのかを誰も教えてくれません。

この本を読むことで、モノの見方や、感じ方、価値の感じ方に触れられ、大学の学びにつなげられるでしょう。

マルクスといえば「資本論」を思

いつく人も多いことでしょう。現在の複雑化した、成熟した社会で過ごすみなさんにとって、経済を捉えることは難しいかもしれません。

産業革命の変化をいち早く感じたマルクスはどのような行動をしたのでしょうか。社会や歴史から経済を見つめることで構成されたマルクスの理論は現代にも通ずるものがあります。

マルクスのモノの見方をわかりやすい文章で書かれているので、大学生の入門書としては是非本書を手にとってください。



推薦者

人文学部社会経済学科卒業生
岩瀬 誠司

所蔵状況

所蔵館	配置場所	請求記号
中央館	A4開架	309.3/Mar



大型資料の紹介



■「講談社ブルーボックス」MARUZEN eBook Library

皆さん、「新書」ってご存じでしょうか。文庫本よりやや大きめの型(新書版)をとる本のことで、主には教養としてのノンフィクションを扱います。本ごとに、まさに大学レベルの学問分野についてテーマを絞って簡潔にまとめられており、内容は高度ながら初学者にもわかりやすい語り口で書かれることが特徴です。僕もこれまで色々な新書に触れてきていますが、よい新書に出会えたときは新たな世界が拓かれ、めざましい喜びで満たされます。

さて、このたび図書館を通じて「講談社ブルーボックス」シリーズ289冊が電子版で読めるようになりました。(とうぜん無料です。)ブルーボックスは、主に自然科学の諸分野を主題にとった伝統ある新書シリーズです。中央館ホームページからMaruzen eBook Libraryのリンク(※)を開き「ブルーボックス」で検索すれば一覧がでますし、図書館のOPAC検索で調べて出てきたURLをクリックしても読めます。是非、ちょっと試し読みしてみてください。よき読書ライフを!

(理工学部教員 加藤治一)

※アクセスはこちら⇒<https://elib.maruzen.co.jp>

■オンライン版『日本近代文学館所蔵 太宰治自筆資料集』

オンライン版『日本近代文学館所蔵 太宰治自筆資料集』は、日本近代文学館の「太宰治文庫」に保管されていた、太宰治の、貴重な直筆原稿・草稿類および旧制中学・高校時代の日記・学習ノート、教科書類を収録する、検索機能を持つ画像データベースです。これまで、日本近代文学館にまで足を運ばなければ見ることのできなかった資料に、高知大学のパソコンの画面上で触れることができるようになりました。この中には、『人間失格』『斜陽』『右大臣実朝』『正義と微笑』などの太宰の代表作の原稿や、2013年4月に日本近代文学館に寄贈されたばかりの旧制青森中学、弘前高校時代のノートや教科書類も収録されていて、太宰作品の成立過程を知る上では欠かすことのできない資料集です。

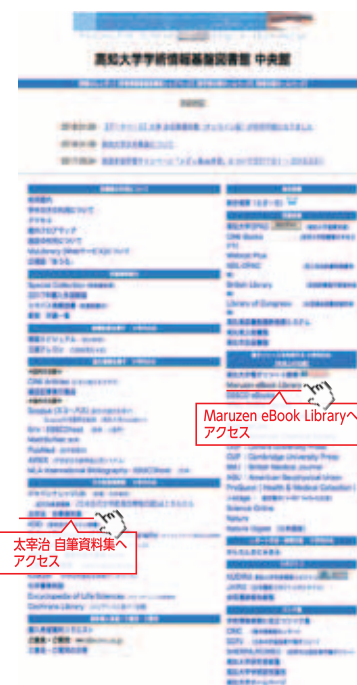
(人文社会科学部教員 田鎖数馬)

アクセスはこちら⇒https://j-dac.jp/infolib/meta_pub/G0000012DAZAI

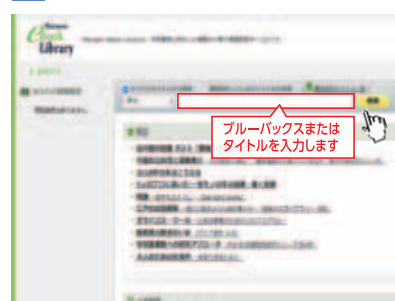
■HPへのアクセス方法

今回ご紹介のe-bookとデータベースのアクセスは中央館のホームページ(<http://www.lib.kochi-u.ac.jp/library/chuokan/>)からおすすみください。

1 中央館のホームページへアクセス



2 Maruzen eBook Libraryへアクセス



3 一覧から読みたい本のタイトルをクリック



2 太宰治 自筆資料集へアクセス完了!



4 目次をクリックすると該当のページへアクセス完了!



めでいもり Report

■全国大学ビブリオバトル2017 高知大生が全国決戦に

10月25日にビブリオバトル高知地区予選会(高知大学会場第2回)が、メディアの森2Fアクティブラーニングコーナーで開催されました。ビブリオバトルとは、自分のお勧め本を5分間で紹介しあい、投票するバトルです。高知大学では、7月16日に続いて開かれ、バトラー6名がそれぞれ持ってきた本の魅力について熱く語ってくれました。11月20日には金高堂本店で開催された高知地区決戦に本学からも予選チャンプ2名が出場、人文学部4年生の申間加奈子さんが紹介した「ワイルド・スワン」が見事チャンプ本に選ばれ、12月の全国決戦に進みました。今年も開催予定です。お勧め本を語りたい方、参加をお待ちしています。



■データベース利用講習会の開催

・「JapanKnowledge(ジャパンナレッジ)Lib」利用説明会

9月28日、朝倉キャンパスメディアの森2F教育端末室で専門講師による講習会を開催しました。約50種類以上の事典・辞書・雑誌等のコンテンツを収録した当データベースの機能・操作方法について説明を受け、今後のレポート作成・調査研究・就活のための情報収集と活用方法のコツを実例を交えながら聴くことが出来ました。

・Scopus利用講習会

12月6日~7日、各キャンパスにおいて専門講師による利用講習会を開催しました。

「Scopus」は研究・論文作成に必須の論文情報検索データベースであり、例年多くの学生、教員が参加しています。当日は、事前に連絡があった各参加者からのキーワードを基に、効率的な検索方法を実習形式で行いました。参加者からは非常に役立つとの感想がありました。

※「JapanKnowledge Lib」と「Scopus」の利用講習会の動画を、高知大学moodle(<https://moodle.cc/kochi-u.ac.jp/>)に公開しました。図書館ホームページリンクからもご利用になれます。学内のみで閲覧可能です。

■ブックハンティング・ブックリクエストweek

図書館に置きたい本を学生自らが選書するイベントを今年も開催しました。

ブックハンティングは、10月11日(金高堂医学部店)、14日(金高堂本店)、18日(高知大学生協書籍部)にて行われました。参加者は合計43名、選定冊数222冊となりました。また、物部分館では10月2日~16日に集中してリクエストを受け付けるブックリクエストweekを実施しました。多くの学生さんが参加、43冊の図書が選定されました。参加した学生からはとても楽しかった!次回も参加したい!との声がありました。

各館ブックハンティングコーナー、ブックリクエストコーナーを設け、展示していますのでぜひご利用ください。

今年も開催予定です。ご自分の読みたい本やお勧め本を選んでみませんか?



■学生サポートデスクの開設(試行)

11月13日~1月31日、朝倉キャンパスメディアの森2Fレファレンスカウンターで学生によるサポートデスクを開設しました。図書館の利用やPCに関して困っていること、レポート作成の相談などを学生サポーター自らが支援するために試験的に実施したものです。開設中は「本が見つからないです!」や「文献検索を教えてください!」、「レポート作成に困っています!」という方が訪れました。



■物部分館 企画展示

物部分館では、平成28年度より夜間学生スタッフによる企画展示を実施しています。4回目は、平成29年10月20日~平成29年12月25日までテーマを「提出物の秋」として夜間学生スタッフが選んだレポートの書き方、卒論の書き方などに関する図書を展示しました。また、同時に高知県立図書館のまとめ貸制度を利用して、スタッフの企画展示のテーマに関係する図書を借り、一緒に利用させてもらいました。



めでいもりInformation

◆平成30年度レポート作成セミナー

5回シリーズで、レポートを書く前に知っておきたい6つのポイントを学びます。
 新入生も、在生も(留学生も!)ぜひご参加ください。

【日時】

セミナー内容	開催日			
	月・3限	水・3限	水・5限	金・4限
要約のしかた	5/7	5/9	5/23 岡豊キャンパス	5/25
説得力のある文章を書く	5/14	5/16		6/1
レポートのルール	6/4	6/6		6/15
サンプルレポートを読む	6/18	6/13	5/30 岡豊キャンパス	6/29
レポートの書式	7/2	6/27		7/6

【レポートを書く前に知っておきたい6つのポイント】

- (1)学術的な文章を効率的に読む方法
- (2)必要な情報を過不足なくまとめる方法
- (3)根拠の説得力を高める文章表現
- (4)「あるテーマについて論じる」とは?
- (5)引用のルールを守ることの大切さ
- (6)レポートの書式と表記規則

【受講のしかたについて】

- 毎回好きな曜日・時限に受講してOK!
- 興味のある内容の日だけ選んで受講してもOK!
- 卒論・修論の作成に向けての受講も歓迎します!

【最新の情報について】

KULAS(トップページ)の[お知らせ一覧]や、申込場所で確認するようにしてください。

【場所】

- 朝倉キャンパス…メディアの森(図書館)2Fアクティブ・ラーニングフロア
- 岡豊キャンパス…看護学科棟第1講義室

【受講の申込みについて】

座席確保のために、下記の場所で事前申込みをお願いしています。
 ・メディアの森(図書館)1F総合案内
 ・医学部学生課教務係(医学部開催分)

◆図書館利用ガイダンスのお知らせ

- 5~6月にかけて、中央館と物部分館では図書館の便利な利用法などを知ってもらうためのガイダンスを行っています。OPAC(蔵書検索)での資料の探し方など、職員がわかりやすくご案内します。図書館活用テクニックを身につけて学生生活をより充実したものにしてください。開催日程は図書館HPやKULASでお知らせします。
- グループやゼミ単位でのオンデマンドガイダンスも受け付けています。ご希望の日程、内容で行いますので、ご活用ください。

ガイダンスのお問い合わせ

中央館(内線8163) kg07@kochi-u.ac.jp
 物部分館(内線5117) kg06@kochi-u.ac.jp
 医学部分館(内線22490) kg05@kochi-u.ac.jp

◆ゴールデンウィーク 休館のお知らせ

2018年4月28日(土)~30日(月)
 2018年5月3日(木)~5月6日(日)

は連続休館となります。

ご不便をおかけしますが、ご了承願います。

| 編 | 集 | 後 | 記 |

新年度が始まりました。
 いろいろなことが新しくなる春です。
 図書館も少しずつですが、新しく便利に変わって
 います。今号は新しくなったことをいくつかご紹介
 しました。新入生はもちろんのこと、在生も便利に
 なった図書館を体感しに来てください。



あうる No.19 (2018年4月発行)

[編集・発行]

高知大学学術情報基盤図書館
 〒780-8520 高知市曙町2-5-1
 Tel.088-844-8731 Fax.088-844-8161
 U R L : <http://www.lib.kochi-u.ac.jp/>
 E-mail : lib@kochi-u.ac.jp